

平成 27 年第 3 回 高山市議会定例会 一 般 質 問

◎一般質問の順序

月 日	議 員 名	会 派 名	ページ
6月8日(月)	1. 岩垣和彦 議員	無 会 派	1
	2. 松山篤夫 議員	無 会 派	2
	3. 谷澤政司 議員	無 会 派	3
	4. 上嶋希代子 議員	日本共産党高山市議団	4
	5. 牛丸尋幸 議員	日本共産党高山市議団	6
	6. 沼津光夫 議員	高山市政クラブ	7
6月11日(木)	1. 今井武男 議員	高山市政クラブ	8
	2. 伊東寿充 議員	創 政 ク ラ ブ	9
	3. 谷村昭次 議員	創 政 ク ラ ブ	11
	4. 西田 稔 議員	創 政 ク ラ ブ	13
	5. 車戸明良 議員	創 政 ク ラ ブ	15
	6. 水門義昭 議員	創 政 ク ラ ブ	17
6月12日(金)	1. 藤江久子 議員	創 政 ク ラ ブ	19
	2. 山腰恵一 議員	高山市議会公明党	20
	3. 中箴博之 議員	高山市議会公明党	21

◎質問時間等については以下のとおりです。

議員の質問のみで40分。質問回数は制限なし。

※ 反問に要した質問及び答弁の時間は持ち時間に含めない。

◎一般質問の内容は次のとおり通告されています。

【岩 垣 和 彦 議員】

1. 政治参加のあり方について

(1) 地方選挙

- ①統一地方選挙における投票率の低下をどう捉えるか
- ②政治への関心度を高めるための政治参加のあり方とは
- ③18歳選挙権をどう考えるか

2. 職員採用について

(1) 職員採用の拡大と人材育成

- ①採用職員の増加で年齢構成に偏在は出ないか
- ②民間の人材不足が顕著になる中で、職員の採用拡大は地域雇用にも影響する恐れがあるのでは
- ③キャリア教育と人事制度を組み合わせ、行政のプロフェッショナルを養成する考えは

3. 経済の好循環について

(1) 産業連関

- ①市内総生産が伸び悩む時、域際収支（付加価値額）の増加策をどう考えるか
- ②自治体予算が市内生産へ及ぼす影響を調査し、市内全体に経済波及を導き出すことが必要でないか
- ③産業連関表を作成する上での課題は何か

【松 山 篤 夫 議員】

1. 人口対策について

(1) 創造的過疎

- ①「すきな場所」を「すてきな場所」に変えるためにはあるべき人口を明確にし、市民と共有する中で政策を進めて行く必要があるのでは

2. 観光と海外戦略について

(1) 観光政策

- ①北陸新幹線開業の影響は
- ②ローカル線としての高山線の魅力を観光資源として活用しては
- ③サムライルートが多様なルートづくりが必要では
- ④市の文化・歴史遺産を「日本遺産」として認定申請する考えは

(2) 高山ブランド品の海外販路拡大策

- ①ミラノ国際博覧会に出展された「飛騨・高原山椒」を「本場の本物」として販路拡大を
- ②飛騨牛の世界市場開拓への展望は
- ③野菜・果物等の生鮮食料品の海外市場への参入計画は
- ④「木のおもちゃ」の評価が海外で高くなっている。高山ブランドの「木のおもちゃ」が新しい輸出商品になるのでは

(3) クール・ジャパン支援事業

- ①経産省のJAPANブランドプロデュース支援事業「MORE THAN プロジェクト」を地場産業の輸出力強化のために有効利用しては

【谷 澤 政 司 議員】

1. 観光イベント等について

(1) 観光イベント等のあり方

- ① イベントの開催時期や内容を全市的に調整連携する必要があるのでは
- ② 市民や観光客の更なる参加を促すため、周知方法等の再検討が必要では

(2) 今後の観光イベント等

- ① 市制80周年を記念した特別イベント（八次総実施計画掲載事業）の内容は
- ② 「山・鉾・屋台行事」のユネスコ無形文化遺産登録に向け、大イベント開催を

2. 災害に強いまちづくりについて

(1) 昨年夏の豪雨災害復旧工事の進捗状況

- ① 復旧工事の進捗状況は
- ② 宮川の弥生橋～連合橋の河川敷復旧工事の完了時期は

(2) 災害に強いまちづくりの更なる推進

- ① 宮川の松本町側（堤防道路が低い）の治水対策を
- ② 北山西側の急傾斜地（左京町～大新町4丁目）の崩壊対策工事を

【上 嶋 希 代 子 議員】

1. 子育て支援策について

(1) 高校生までの医療費の無料化

①次の視点で対応できないか

- ・子育て支援として
- ・やさしいまちづくりとして
- ・病気の早期発見、早期治療への手立てとして

②無料化に要する経費は

(2) 給食費の当面半額支援

①現在給食費は小学生、中学生それぞれいくらか。半額支援するとしたらいくらかかるのか

②子育て支援として対応できないか

2. 防災ラジオについて

(1) 全戸無料配布

①普及に向けた具体策は

②異常気象が言われる今日、防災対策として全戸無料配布すべきでは

③全戸無料配布に要する経費は

3. 市民が主役のまちづくりについて

(1) 新火葬場建設候補地

①候補地をスカイパークとした経緯は

②約2万の署名数の重みをどう考えているか

③市民が主役のまちづくりと言われるなら、白紙に戻して再検討すべきでないか

4. 児童発達支援事業の指定管理者制度への移行に関する要望書について

(1) 要望への対応

- ①保護者等関係者との話し合いはどこまで行われているか
- ②要望にあるように市直営で運営すべきではないか

【牛 丸 尋 幸 議員】

1. 県下一多額の積立金による暮らし応援について

(1) 積立金

- ①積立金と財政調整基金の現状は
- ②財政調整基金を取り崩すことについての市の考えは

(2) 市民の暮らしの状況

- ①市民の暮らしの状況についての市の考えは

(3) 暮らし応援の施策

- ①国民健康保険料の負担軽減を
- ②介護保険料の負担軽減を
- ③除雪・排雪の強化を
- ④福祉灯油券の無料配布を

2. 昨年度の豪雪による倒木災害について

(1) 倒木災害の状況と対応状況

- ①倒木災害の全体の状況は
- ②倒木災害の対応状況と今後の予定は

(2) 倒木による二次災害

- ①二次災害の危険性は
- ②今後の対応は

3. 平和の取り組みについて

(1) 平和都市宣言

- ①市の取り組み状況は

(2) 安倍政権の戦争法案と集団的自衛権の行使

- ①市長の考えは

【沼津光夫 議員】

1. 農業政策の新たな方向性について

(1) 後継者についての今後の取り組み方

- ①後継者問題は、農業だけでなく大きな課題となっている。以前から後継者については様々な対策が実施されてきたが、今後高山市はどのような取り組みを考えているのか
- ②夢のある高山をめざす時、今後の農業政策の方向性をどう考えているのか

(2) 今後の農業の継承方法

- ①高齢者が農業を継続するためには、農業機械の更新が不可欠であり、そのためには多額のお金が必要となる。高山市単独の助成制度を制定し農家負担を軽減したらどうか
- ②新規就農者や農家後継者に対する高山市単独の補助制度を考えてはどうか
(地方創生事業)

2. 昨年12月の豪雪による山林の倒木処理について

(1) 河川（普通河川・溪流）の倒木による二次災害の危険性

- ①県治山事業での倒木除去を検討されているようだが、保安林指定が条件で、なかなか進まないと思われる。どう対応するのか
- ②二次災害の危険性がかなりあると思われるが、その対応は

(2) 山林の倒木被害の対応

- ①高山市単独で倒木に対応する作業道の補助制度を新たに制定してはどうか
- ②観光客に対して、高山市の田園・山林も大きな魅力であることから、景観整備に大きな役割をしている幹線道路沿いの環境整備を急いだらどうか
- ③林道の法面・ガードレール等の復旧と予算対応はどうか

【今 井 武 男 議 員】

1. 学校給食センターについて

(1) 第八次総合計画による施設整備

①学校給食センター施設の老朽化に伴う整備はどのように考えているのか

(2) アレルギーを持っている児童への対応

①ここ10年間のアレルギー児童に対する学校給食の対応の変化は

②家庭と給食センター間における学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）の現状と対応は

③第八次総合計画による施設整備にあたっては、アレルギー対応の専門ラインを設けるべきではないか

2. 障がい者への支援について

(1) ヘルプカード

①障がいのある方が、緊急時・災害時に支援が必要であることが一目で分かる「ヘルプカード」というものがある。市として「ヘルプカード」を作成する考えは

【伊 東 寿 充 議員】

1. 持続可能な経済基盤の形成について

(1) 中心市街地活性化対策

- ① まちなか居住促進事業の取り組みと成果は
- ② 中心市街地の起業状況と創業応援窓口の活用状況は
- ③ 都市再生特別措置法等の一部改正法を受けて、中心市街地をまちづくりの中でどう捉えていくのか
- ④ 起業支援・空き店舗活用の周知強化による利用拡大が必要ではないか
- ⑤ 地域資源の活用と商業分野のマッチングによるテーマ性を持った新商品開発・まちづくりの推進を

(2) 労働生産性向上策の強化

- ① 本市の生産年齢人口減少に対する対策は
- ② 非労働力人口における就業希望者の割合と潜在的労働力率は
- ③ 地域ブランド力の向上や高付加価値化等がもたらす労働生産性の向上が経済全体に波及する仕組みは
- ④ 高齢化・生産年齢人口の減少に備えた生活コストの削減や実質賃金増加へ繋がる取り組みを

(3) 地域内資金循環活性化の促進

- ① 地元消費に関わる地域内資金循環活性化への取り組みは
- ② 継続的な資金流出対策への取り組みとその成果は
- ③ 一時的な措置にとどまらない地域内資金循環活性化の継続的な促進対策が必要ではないか

2. 滞在型・通年型観光地づくりについて

(1) 現状分析と今後の取り組み

- ①通年及び終日を通じた魅力ある観光地づくりへの取り組みの現状は
- ②冬季及び夜間の新しい魅力づくりの推進を

(2) 観光客受入に伴う労働力の確保

- ①観光客増加の試算に伴う労働力確保への政策は

(3) 観光客の安全確保

- ①歩車分離信号機導入前後の車両と歩行者の潜在的遭遇率は
- ②地元住民にも配慮した冬季を含む交通状況の調査・改善が必要ではないか

【谷 村 昭 次 議員】

1. 魅力と活力あるまちづくりについて

(1) 農地の多面的機能の増進と保全対策

- ①国際土壌年（2015）にあたり、「土壌資源への関心」に対する市としての考えは
- ②多面的機能支払交付金に対する市の関わり状況は
- ③兼業農家に対する支援についての考えは

(2) 農林産就労と地域ブランドの展開

- ①山林地における間伐率と切放し間伐材（放置）の排出率の状況は
- ②「観光林業」という概念から、山仕事参加へのイベント事業等に取り組むべきでは
- ③「地理的表示・・・生産地（製法や文化、風土など）＋商品の特性（品質、評価など）」を活用して、地域ブランド保護に取り組むべきでは

(3) 豊かな歴史文化と自然環境の保全・活用

- ①市内各河川において歩行環境の整備（まちかどスポット的な整備）を行い、「にぎわいの形成」を図るべきでは
- ②「保全と開発とのバランスのとれた秩序ある土地利用が行なわれている」と感じている市民の割合を大きく向上させる必要があるのでは
- ③歩く時代・歩いて旅する時代として「ロングトレイルウォーキング（飛騨六街道）」を取り入れ、自然や文化の再発見・観光活性化を図るべきでは

2. 地域や産業を支える人づくりについて

(1) 豊かな知識と経験を持つ熟練者への配慮

- ①技能・技術を発展的に後世につなげるため、道具・工具文化を人づくりにつなげる必要がある
- ②2016年に開催される「全国削ろう会－飛騨高山」大会への外国人の参加を促し、海外への文化交流発信につなげては

(2) 交流人口増加への模索

- ①本市を離れた子育てママ・パパの定期一時帰宅への支援など、地縁や人のネットワークを活かして交流人口の増加を図るべきでは

【西 田 稔 議員】

1. U I J ターンの促進について

(1) 地元企業への就労促進

- ①来春大学、専門学校を卒業予定の高山出身者数と U ターン希望者は
- ②Uターン者数増加のための働きかけは
- ③地元企業との連携は

(2) 起業支援

- ①創業支援策の更なる周知が必要では
- ②起業セミナーの効果は
- ③創業後の支援策は

(3) 移住支援の実績と今後の方向性

- ①平成 2 6 年度の林業・就農体感ツアーの実績と平成 2 7 年度の計画は
- ②林業・就農体感ツアーはどれだけ移住に結びついているのか
- ③体感ツアー（林業・就農・冬暮らし・子育て・スローライフ）の移住支援における位置づけは

2. 「図書館を使った調べる学習コンクール」について

(1) コンクールの実施状況

- ①市教委が主催するコンクールの趣旨・目的は
- ②全国コンクールで高山の子どもたちが優秀な成績を収めている。市としてどう捉えているのか

(2) 図書館を使った調べる学習の充実

- ①図書館を使った調べる学習の量的な拡大（応募者数の増等）や質的な向上にどう取り組んでいるのか
- ②学校教育の目標は、豊かな心や健やかな体の育成、確かな学力の確立など児童生徒の「生きる力」を身につけさせることにある。探求的授業の展開、学校図書司書の全校配置などに取り組むなかで、図書館を使った調べる学習をどう位置づけ、つなげていくのか

【車 戸 明 良 議員】

1. 「健康寿命日本一をめざして」について

(1) 健康寿命の延伸

- ①国の健康寿命の水準と高山市における健康寿命の調査方法とその結果は
- ②健康寿命日本一を目指し、きめ細かな施策を展開しては

(2) 健康づくりの推進の取り組み

- ①特定健診の状況と分析による課題は
- ②特定保健指導の状況と効果は
- ③特定健診の結果説明会の重要性と啓発は
- ④健診受診者の生活習慣病治療者の割合が高い。子どもの頃から若い世代の健康づくりの施策展開は
- ⑤食育・歩き・ラジオ体操運動の推進は

(3) 介護予防の取り組み

- ①高齢者健康教室（ひざ腰元気教室、にこにこ教室）の状況と成果は
- ②高齢者健康教室の自主活動の状況と支援事業は。今後の課題は
- ③平成27年の介護予防・認知予防の取り組みは
- ④平成28年からの新たな地域支援事業の方向性と取り組みは

2. 観光振興について

(1) 観光客の動向

- ① 関東圏からのバス観光の増加など観光客の最近の動向と分析は
- ② 北陸新幹線開通による観光産業の影響は
- ③ 三ツ星街道事業の効果と来年度以降に向けての取り組みは
- ④ 今年度の高山市の観光誘客活動のポイントは

(2) 外国人観光客の購買需要の取り込み

- ① 高山市における免税店の状況とそれを活かした商業活性化への取り組みは
- ② 外国人観光客などの消費拡大を図るためのカード決済普及促進事業(地方創生)の取り組み状況は
- ③ 通訳案内士育成事業(中心市街地特例) (地方創生) の取り組み状況は

【水 門 義 昭 議員】

1. 公共施設マネジメントについて

(1) 公共施設白書からの課題

- ①総合計画策定にあたって、この白書との関連をどう考えたのか
- ②白書作成に至るまでの、各施設の個票、管理台帳はどう整備されているのか
- ③白書には「今後の取り組みの方向性」があるが、具体的にどのように進めるのか

(2) 公共施設等総合管理計画の策定

- ①計画の策定期間は
- ②アセットマネジメント、ファシリティマネジメントの導入の考えはあるのか
- ③公共施設マネジメントとして、横軸で考える担当部署の設置の考えは（政策提言あり）

(3) 施設整備計画と財政計画

- ①施設整備にあたっての財政措置（起債等）についての考えは
- ②（仮称）公共施設整備基金の必要性はないか

(4) 国の地方公会計の整備方針との関連

- ①総務省がすすめる統一的な基準による公会計整備には資産管理を必要とするが、どのように取り組むのか

2. 協働のまちづくりについて

(1) 全市民が参画できる仕組みづくり

- ①町内会未加入者のまちづくり協議会への参画に向け、行政、市民、町内会、各種団体等はどのような役割を果たせば良いのか
- ②町内会に加入する魅力が薄れないか。町内会加入への新たな支援策はあるのか

(2) 子どもを育む体制（教育面）づくり

- ①子ども育成に対して、どのような組織を考え、どのような活動を指導しているのか
- ②保育園・幼稚園や保育士、学校や教員、教育委員会との連携が必要ではないか

(3) 支援金の考え方

- ①支援金を各町内会に振興費として割り振りしているまちづくり協議会有る。支援金のバラマキと捉えられないか
- ②自主性は必要だが、具体的な活動への誘導策が必要ではないか

(4) 町内要望に対する考え方

- ①市長は町内会が市長室に来て下さるより、市長自らが出向きたいという考えか
- ②町内会やまちづくり協議会に優先順位をつけさせることに無理はないか
- ③維持や修繕でない要望事項なども、まちづくり協議会を通すべきなのか
- ④町内要望に対する見直しは拙速に行わず、地域の理解を十分得てから行うべきではないか

【藤 江 久 子 議員】

1. 子育て環境の整備について

(1) 学童保育

- ①「荘川小・栃尾小の留守家庭児童対策事業の拡充」の位置づけは
- ②土曜日・中長期休暇時の学童保育の拡充についての考え方は
- ③6年生までへの拡充についての考え方は
- ④ニーズ調査をしたことがあるのか
- ⑤運営主体に対する考え方は
- ⑥市内小学校の学童保育への対応がまちまちであるが、考え方は

(2) 障がい児への対応

- ①ニーズの把握はしているのか
- ②日中一時預かりや放課後デイサービスの現状をどのように考えているのか

2. 高次脳機能障がいについて

(1) 啓発の必要性

- ①高次脳機能障がい者と家族の困り感を解消するため、市はどう取り組むのか

(2) リハビリができる環境整備

- ①病院や相談機関との連携等、リハビリができるまでの環境整備についての考え方は

3. 職員数と給与の関係について

(1) 新規採用者

- ①当初20名程度と言われていた新規採用者数が、30名程度に増えた理由は
- ②一般事務14名程度と保健師2名程度の採用に期待するところは

(2) 適正な職員数（嘱託職員数含む）と給与

- ①適正な職員数（嘱託職員数含む）とは
- ②民間と市職員の給与格差について、市長の考えは

【山 腰 恵 一 議員】

1. 空き家対策について

(1) 空き家の実態

- ①空き家の増加による市民への影響をどう捉えているか
- ②実態を把握するための調査が必要では

(2) 空き家対策推進特別措置法と市の取り組み

- ①各部局が連携した相談体制の取り組みが必要では
- ②空き家等対策計画策定の方針は
- ③「特定空き家等」として判断するための流れをどう考えているのか

(3) 有効活用の取り組み

- ①空き家紹介制度の現状と課題はなにか
- ②中心市街地及びその周辺の空き家（古民家等）は、町並み景観保存の観点からの対策が必要ではないか

2. 災害に強いまちづくりについて

(1) 防災・減災の取り組み

- ①事前防災行動計画（タイムライン）策定の考えは
- ②事前防災行動の考えに基づく、きめ細かな情報提供が必要ではないか
- ③防災リーダーによる地域での災害図上訓練（D I G）の推進体制をどう構築するのか
- ④指定避難所の模擬運営体験（H U G）推進の考えは
- ⑤災害情報の緊急性をランク付けし、対応を図る手法（仮称・災害トリアージ）を取り入れるべきでは

3. ふるさとへの投資について

(1) クラウドファンディングの活用

- ①新たな地域活性化の取り組みとしてクラウドファンディングを活用する考えは

【中 箴 博 之 議員】

1. 高山のファンを増やす取り組みについて

(1) 幅広いファン層の獲得

- ①高山に縁した方々とのつながりを活かさないか
- ②インターネットを積極的に活用してファン層の幅を広げられないか

2. 協働のまちづくりについて

(1) 町内要望等の取り扱い

- ①要望の仕組みを見直す意義と方向性は
- ②従来の陳情の取り扱いを議論すべきでは
- ③地区ごとに1千万円という予算枠は公平なのか
- ④優先順位をつける際の手順は
- ⑤市の関わりはどうなるのか
- ⑥市の思い描く協働のまちづくりの将来像は

3. 第6次行政改革大綱について

(1) 行政組織のあり方

- ①適材適所の考え方はあるのか
- ②グループ制のメリットは活かされているのか

(2) 人材育成と評価制度

- ①人材育成の基本的な考え方は
- ②民間企業への派遣研修は
- ③評価制度の検証が必要では

(3) 事務事業の見直し

- ①事務事業の見直しは進んでいるのか
- ②寒冷地手当の見直しは